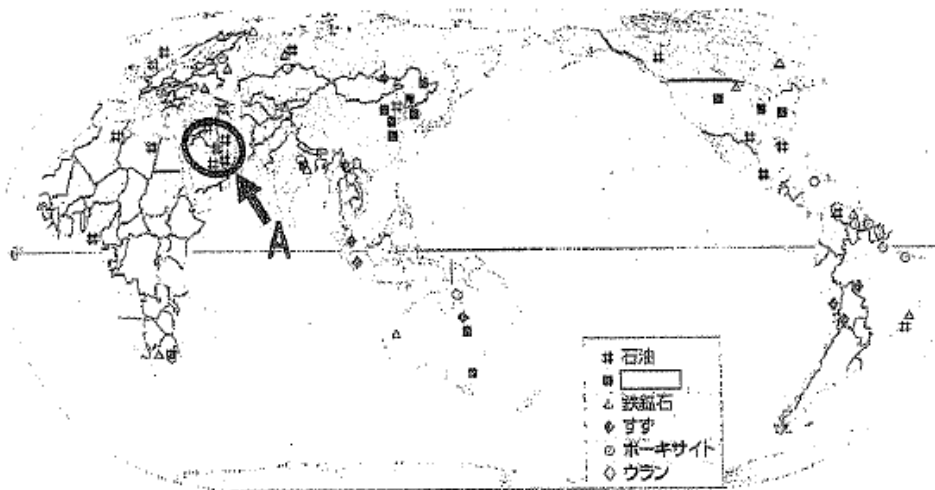


1 冬美さんは下の地図をもとに世界の資源とエネルギー問題について調べました。
以下の問いに答えなさい。



- (1) 石油の産出地が多くある地図中のAの湾の名称を答えなさい。
- (2) 地図中の圏の鉱産資源は何か答えなさい。
- (3) 植物や動物の死がいが地中に堆積し、長い年月の間に変化してできた燃料資源を何というか、漢字4字で答えなさい。
- (4) (3)を燃焼することで生じる温室効果ガスとは何か。選択肢から選び、記号で答えなさい。

ア: H₂O イ: H₂ ウ: CO₂ エ: O₂

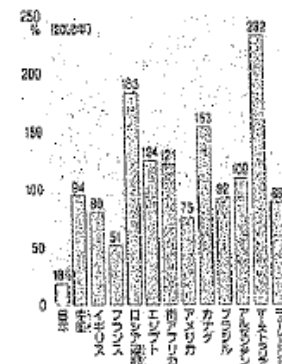
- (5) (3)を多く燃焼させることで近年問題視されている環境問題とは何か答えなさい。
- (6) (5)を防ぐために注目されている再生可能エネルギーとして、間違っているものを選択肢から選び、記号で答えなさい。

ア: 太陽光 イ: 風力 ウ: 火力 エ: 地熱

- (7) とうもろこしなどを使用したバイオエタノール燃料の利用が広がるなか、これに反対する声もある。その理由を簡潔に説明しなさい。
- (8) 再生可能エネルギーやバイオエタノール燃料の利用は、限りある鉱産資源を有効に活用する取組みとして注目されている。このような取組みは、どんな社会を実現させるために取組まれていることか。次の空欄にあてはまる語句を答えなさい。「()な社会を実現させるため。」
- (9) 冬美さんは下の新聞記事を見つけました。下の新聞記事の□に入る語句を答えなさい。その際、資料Aを参考にしなさい。

イラクの油田 権を落札
日本企業で初

【本紙記者ロンドン10日電】イラクの油田開発権をめぐって、日本企業は初めて落札に成功した。イラク政府は、イラクの油田開発権をめぐって、日本企業は初めて落札に成功した。イラク政府は、イラクの油田開発権をめぐって、日本企業は初めて落札に成功した。



資料A: 世界のおもな国のエネルギー自給率

(10) 冬美さんは日本の発電所の分布図をもとに、発電所の立地条件と発電量について考えました。

次の問いに答えなさい。

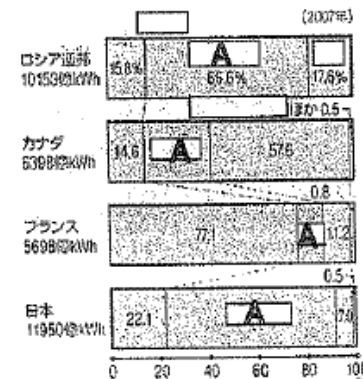
⑤ 日本のおもな発電所の分布 (2010年現在)

- 水力発電所
- ▲ 火力発電所
- ☆ 原子力発電所
- 地熱発電所
- 太陽光発電所

(平成22年度国土交通省発表資料より)



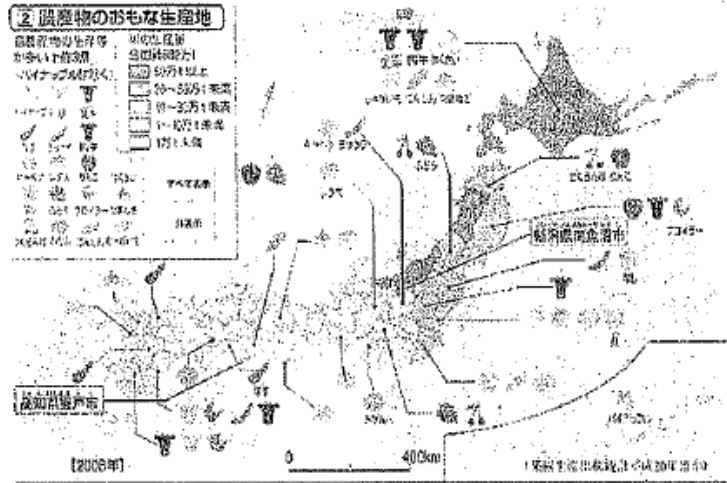
- ① 火力発電所はどんな場所に立地しているか、自然条件に注目し、簡単に説明しなさい。
- ② 水力発電所はどんな場所に立地しているか、自然条件に注目し、簡単に説明しなさい。
- ③ 資料Bは世界のおもな国の発電量のうちわけを示している。Aに該当する発電方法は何か答えなさい。



資料B: 世界のおもな国の発電量のうちわけ

2 冬美さんは日本の農業の現状と課題について調べました。以下の問いに答えなさい。

(1) 冬美さんは農産物のおもな生産地を表した地図を見つけました。次の問いに答えなさい。

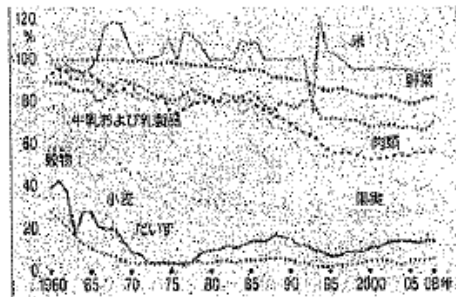


- ① 地図をもとに、促成栽培にあてはまる農産物を県名とともに答えなさい。
- ② 地図をもとに、抑制栽培にあてはまる農産物を県名とともに答えなさい。

- (2) 深谷市は近郊農業を行っている。売り手側にとって近郊農業の良い点を2つ説明しなさい。
- (3) 自分の地域で生産された農産物を自分の地域で消費することを何というか答えなさい。
- (4) 冬美さんは日本の農業の課題について考えました。日本の農業の課題はどのようなことが考えられるか、「価格」「輸入」という語句を用いて説明しなさい。その際、資料Cと資料Dを参考にしなさい。



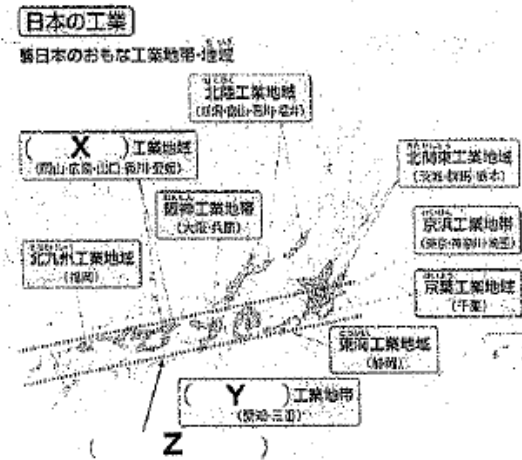
資料C：群馬県産のブロッコリーとアメリカ産のブロッコリー



資料D：おもな農産物の自給率の移り変わり

3 冬美さんは日本の工業がどのような変化を遂げてきたかについて調べました。以下の問いに答えなさい。

(1) 冬美さんは日本のおもな工業地帯・地域の地図を見つけ、戦後、臨海部に発達してきた工業地帯・地域について考えました。次の問いに答えなさい。



- ① X、Yに入る工業地帯の名称をそれぞれ答えなさい。
 - ② Zのような帯状に連ねた工業地域のエリアの名称は何か。6字で答えなさい。
 - ③ 日本の工業地帯・地域の大部分が臨海部にある理由を、「原料」「製品」という語句を用いて説明しなさい。
- (2) 1970年以降、内陸地に工業団地が開発された。おもにどんな場所に工業団地が開発されたのか答えなさい。
 - (3) 1980年代になると日本と外国との間で貿易上の対立が生まれた。この対立を何というか答えなさい。
 - (4) (3)のような貿易上の対立が起きたとき、日本企業はどのように対処したのか。下の資料Eを参考にしながら簡潔に説明しなさい。



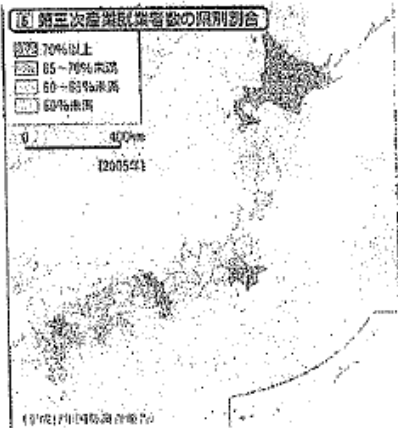
資料E：インドにある日本企業の自動車工場

4 冬美さんは日本の商業の現状と課題について調べました。以下の問いに答えなさい。

(1) 第三次産業に該当する職種を下の選択肢から選び、記号で答えなさい。

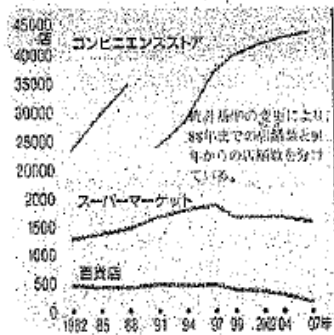
ア：漁業 イ：製造業 ウ：卸売業 エ：建設業 オ：林業

(2) 冬美さんは第三次産業就業者数の県別割合の地図を見つけました。地図から第三次就業者数の割合が高いのは、どのような地域であると言えるか。空欄にあてはまる文を答えなさい。



地図を見ると、北海道や京都が高いことが分かる。これらの地域は、(①) だけである。次いで、東京や大阪も高いことが分かる。これらの地域は、(②) だけである。

(3) 冬美さんは資料 E、資料 F を見つけ日本の商業の課題について下のようにまとめました。資料 E と資料 F を参考にしながら、空欄にあてはまる語句を答えなさい。



資料 F：大型店、コンビニエンスストアの店舗数の移り変わり

資料 F を見ると、日本の商店は (①) が年々店舗数を増やしているのが分かる。また、近年、店舗型の商売だけでなく、(②) 上でも売売が行われている。さらに、自動車で買い物をする人が増えたことにより、資料 G のような郊外に広い (③) をもつアウトレットモールも誕生し、(④) がシャッター通りになってしまうこともある。



資料 G：郊外の大規模なアウトレットモール

5 冬美さんは、先日行ったパリ旅行を通じて、日本と世界の結びつきについて考えました。以下の問いに答えなさい。

(1) 下の文章は、冬美さんがパリ旅行に行った際に記した感想文の一部である。空欄にあてはまる語句を答えなさい。

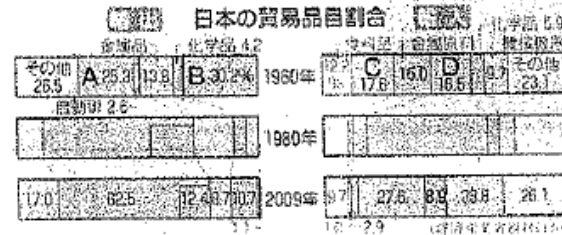
20世紀以降、地球規模で航空交通網、海上交通網の整備が進み、目的地までの(①) が短縮されたので、旅行に行くのが楽になりました。そのため、人や(②) の移動が活発になり、世界との結びつきが強くなったと言えます。一方で、国際電話や(③)、衛星放送などが普及したが、通信施設の設置などが必要であることから、情報の地域格差が生じているのが現状である。また、パリ滞在中、日本人アーティストがパリでコンサートをしているのを見かけ、日本人としてほっとした気持ちになりました。

(2) 下線部 (X) について、下の資料は日本とパリ間の所要時間とルートの変化を表したものである。移動手段が海上であると思われるものを記号ですべて選び答えなさい。

A	76日船(江戸→パリ)	1861年
B	120時間(パリ→横浜)	1924年
C	22時間40分(東京(羽田)→パリ)アンカレン経由	1960年
D	12時間(東京(成田)→パリ)	2010年

0 24 48 72 96 120時間

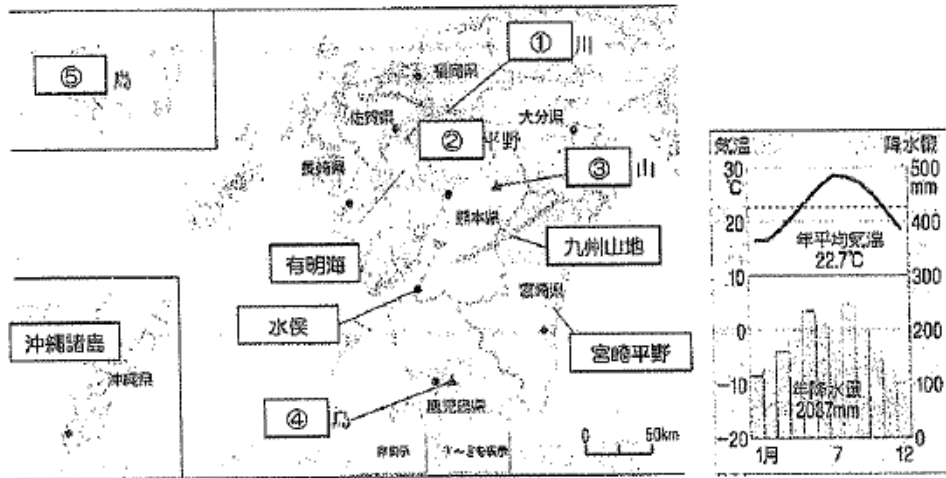
- (3) 下線部 (Y) について、世界との結びつきが強まることを何というか、6字で答えなさい。
 (4) 下線部 (Z) のように、サービスが国境を移動することをサービスの貿易と呼んでいるが、サービスの貿易の具体例を一つ答えなさい。
 (5) 冬美さんは貿易に着目し、日本の貿易品目割合のグラフを見つけました。A~D にあてはまる貿易品を、選択肢から1つずつ選んで書きなさい。次の問いに答えなさい。



せんい品 せんい原料 機械機器
 木材 鉱物性燃料

6 冬美さんは九州地方について調べました。以下の問いに答えなさい。

(1) 九州の地勢について空欄にあてはまる語句を漢字で答えなさい。また、雨温図は地図中のいずれかの県内の都市を示している。あてはまる県名を答えなさい。



- (2) 火山が噴火した際に見られるくぼみの地形を何というか答えなさい。
- (3) 九州地方の農業は、北部では稲作が盛んに行われ、南部では畑作や畜産が盛んに行われている。なぜ農業に違いが生じるのか、「火山」という語句を用いて説明しなさい。
- (4) 九州地方は、下の写真のような災害が多い地方である。この災害に対して、実際に九州地方の人たちが行っている対策を一つ答えなさい。

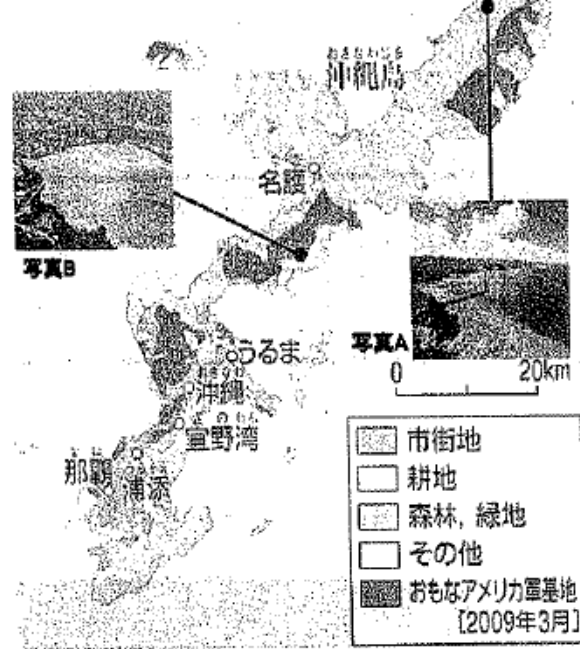


写真：九州地方で多い災害

(5) 写真Aはさんごしょうが広がる海であるが、写真Bは赤土が堆積した海である。同じ沖縄県の海であるのに、なぜこのような違いが生じてしまうのか。沖縄の土地利用の地図を参考にして、説明しなさい。

6 沖縄の土地利用

(第52回沖縄県統計年鑑ほか)



写真A：さんごが広がる海



写真B：赤土が堆積した海

社会科 2学期期末 テスト解答用紙

丁寧な字で書きましょう。語めない字は探点の減点になりません。

		思 技 知
1	(1) べル地帯	2
	(2) 石灰	2
	(3) 化石燃料	2
	(4) ー	2
	(5) 地球温暖化	2
	(6) ー	2
	(7) 原料を燃料にしようとするから	2
	(8) 持続可能	
	(9) 開発	
	① 大都市の近く の臨海部	2
	② 内陸部の山間地	2
	③ 火力発電	2
2	① 県 例) 名崎	
	農作物 とうもろこし	2
	② 県 例) 群馬	
	農作物 布	2
	新設 1 村 属川 川	2
	柳瀬 距離の燃料費を減らすから	2
	地産地消	2
	価格の安い 外国産の作物の輸入に 頼り、農業自給率も下がり、	2
3	① X 瀬戸内	2
	Y 中央	2
	② 高速道路や空港の近く	2
	③ 原料を輸入し、製品を作り輸出 しやすくするため	2
	(1) 高速道路のトンネルや空港の近く	2
	(2) 貿易摩擦	2
	外国の工場を移転させ、 現地での生産	2
4	(1) ー	2
	① 観光業が盛んな地域	2
	② 大都市やその近隣地域	2
	小計	16
		4

		思 技 知
	① フレキシブルなア	2
	② インターネット	2
	③ 駐車場	2
	④ 商店街	2
	① 時間距離	2
	② ー	2
	③ インターネット	2
	A	2
	70パーセント	2
	例) 海外の木材で家具を作る。	
	A 機械機器	1
	B 部品	1
	C 部品の材料	1
	D 鉱物性燃料	2
	① 鋼鉄	2
	② 鋼材	2
	③ 鋼材	2
	④ 鋼材	2
	⑤ 鋼材	2
	県名 沖縄	2
	カルデラ	2
	火山の噴火による形成の地	2
	環状台地の影響	2
	砂防ダムを作り、土砂や木の流出を 防ぐ	2
	70パーセントの建設のため、 土地を開発する必要があるため、	2
	小計	60
		2

期・判・表	技能	知識・理解
/18	/12	/70

2年 総 審 査 前

国語テストの範囲の学習（国語の知識・スキル等）、世界と日本の関わり、九国連盟）を
通って、国語の学習（国語の知識・スキル等）を習得してください。丁寧に、たくさん書いてください。これ
がテストの第一歩です。